障がい者福祉計画アンケート調査
（18歳から64歳の障がい者）

【結果報告書】

令和8年9月

芽室町

Ⅰ　調査の概要

1 調査の目的

第8期芽室町障がい者福祉計画の策定を行うに当たり、現在のニーズを把握し、今後の支援体制のあり方を検討するため調査を実施しました。

2 調査概要

■調査方法

調査票によるアンケート調査。郵送配布・アンケート用紙またはオンラインによる回収。

■調査期間

令和8年7月31日（金）～令和8年8月21日（金）

■調査対象者

18歳から64歳で、障害者手帳をお持ちの方もしくは障害福祉サービスを利用されている方

	配布数（障がい種別は重複あり）		回答数（障がい種別は重複あり）		回答率（障がい種別は重複あり）	
今回（令和8年度）	身体	158人	身体	59人	身体	37.3%
	療育	174人	療育	81人	療育	46.6%
	精神	128人	精神	46人	精神	35.9%
	合計	438人	合計	178人	合計	40.6%
前回（令和5年度）	352人		138人		39.2%	

※回答内訳
アンケート用紙　142件
オンライン　36件

3 報告書の見方

■ 回答結果の割合「%」は回答数に対して、それぞれの割合を小数点以下第2位で四捨五入しています。

■ 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、アンケートの回答者数に対して、それぞれの選択肢を回答した割合を示しているため、合計が100%を超える場合があります。

■ 「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

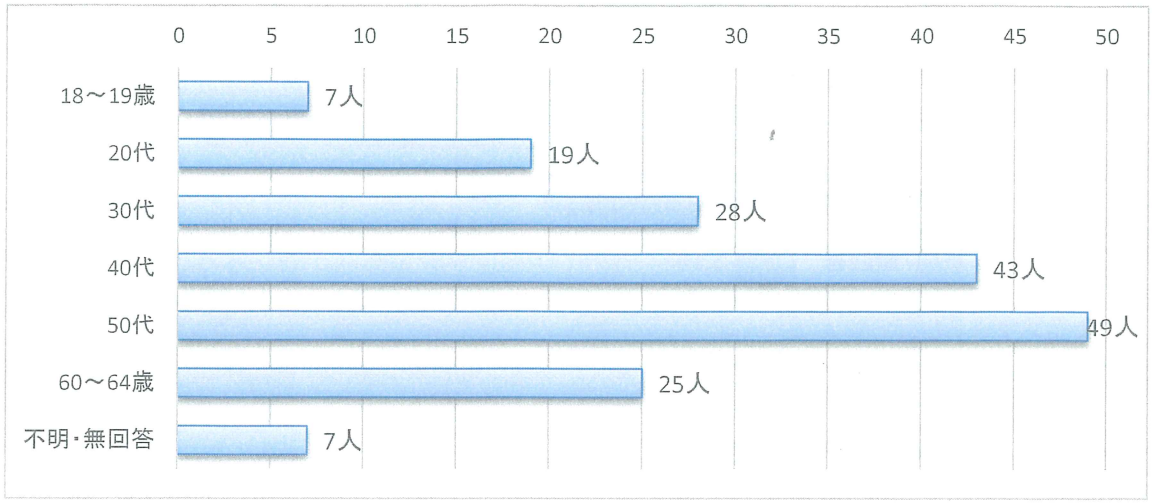
■ 本文中の設問や選択肢は簡略化している場合があります。

Ⅱ　調査結果（成人）

■年齢・ご家族・障がいの状態などについて

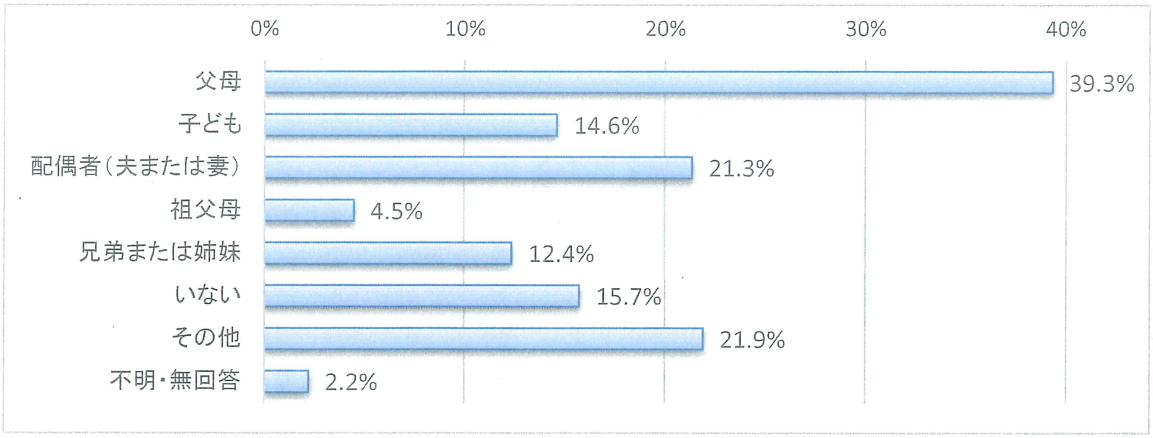
1　年齢

【人】



2　同居者

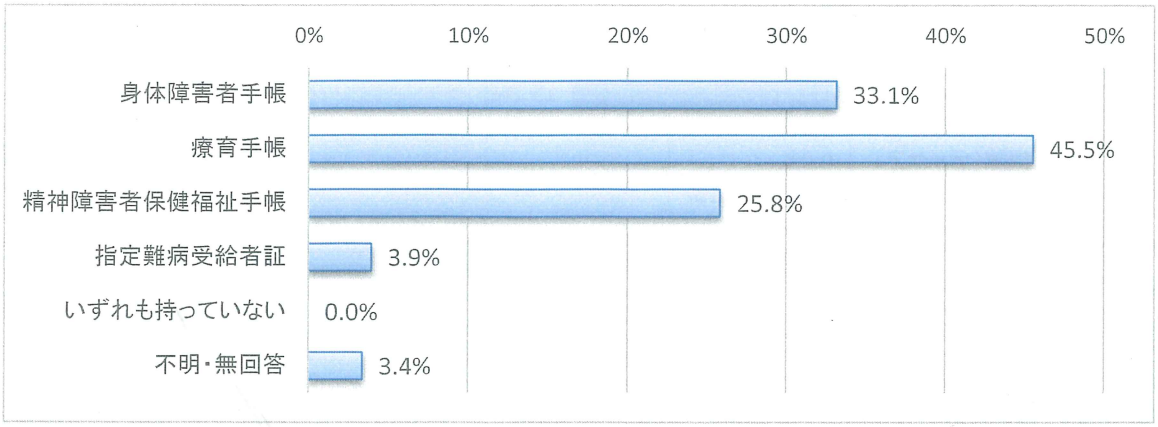
（複数回答　あてはまるものすべて）【%】



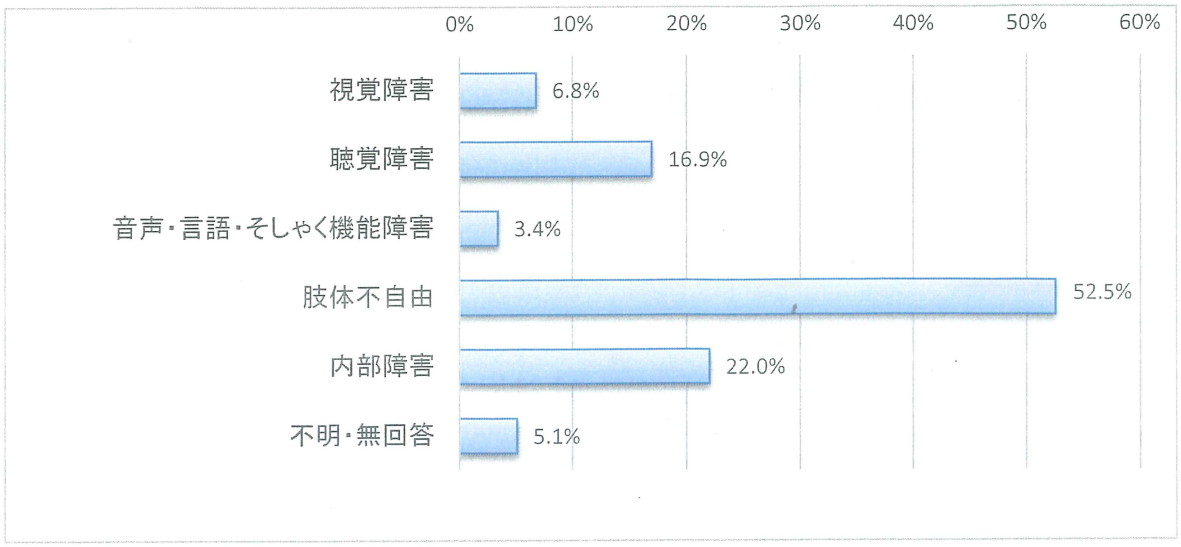
その他：グループホーム利用者（26人）／施設入所者（10人）／兄弟の家族（1人）／
犬と猫（1人）／無回答（1人）

3－1　障害者手帳の種類

（複数回答　あてはまるものすべて）【%】

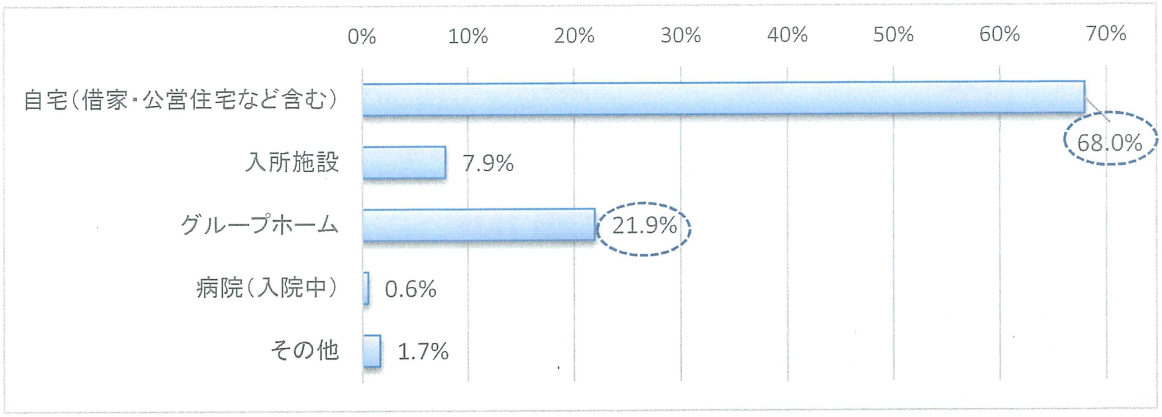


3−2 身体障害者手帳の障がい種別　（複数回答 あてはまるものすべて）【%】



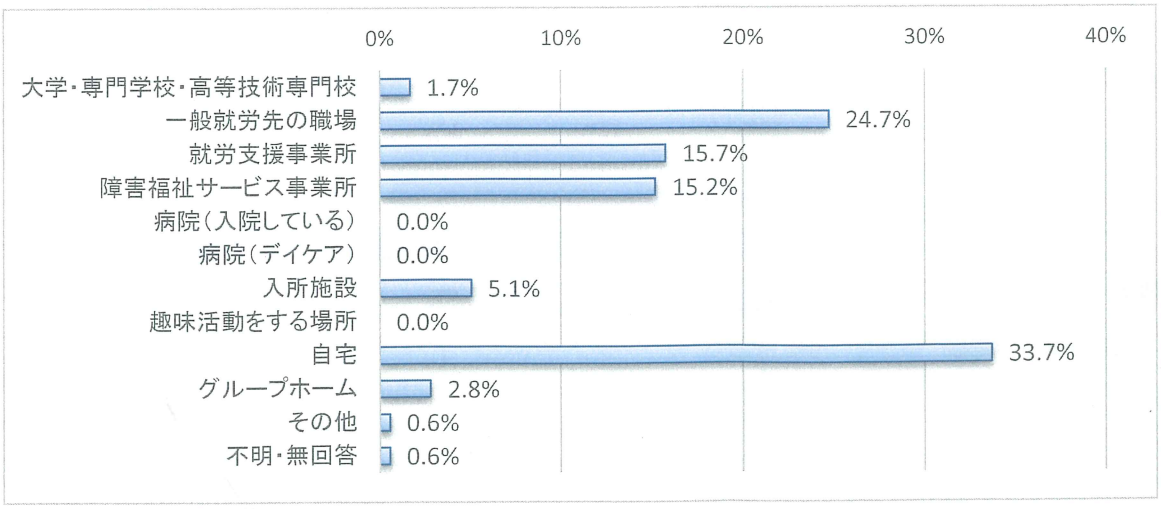
■住まい、暮らし、日中活動について

4 生活場所　【%】



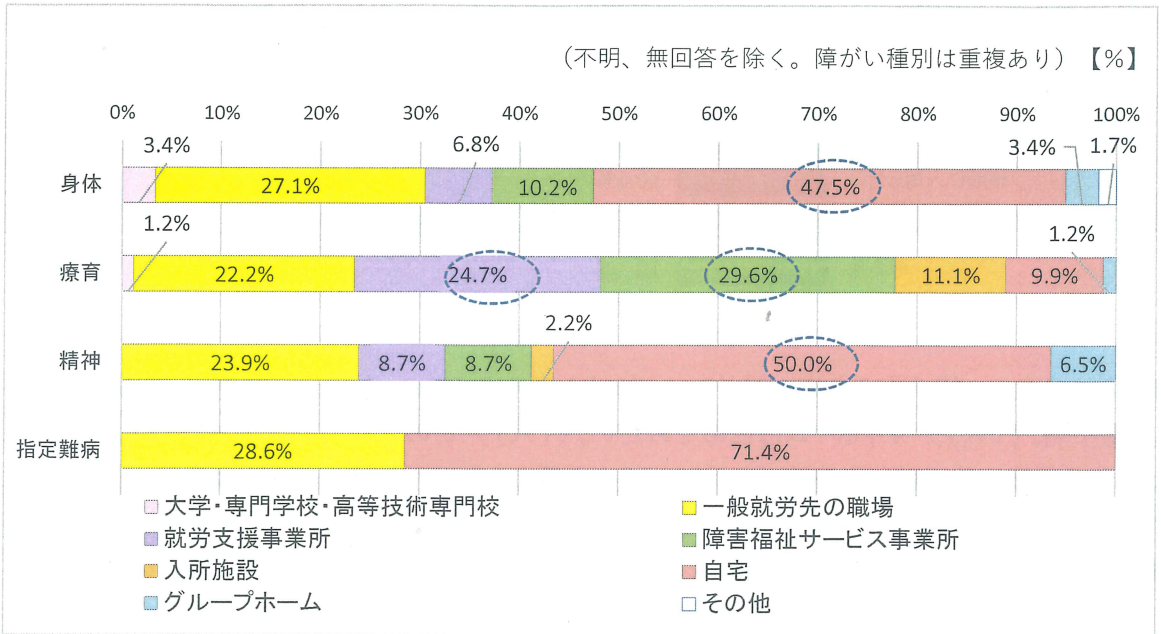
その他：両親の家（１人）／宿泊型自立訓練施設（１人）／１人暮らしで福祉サービスを利用している。（１人）

5 日中の活動場所　【%】

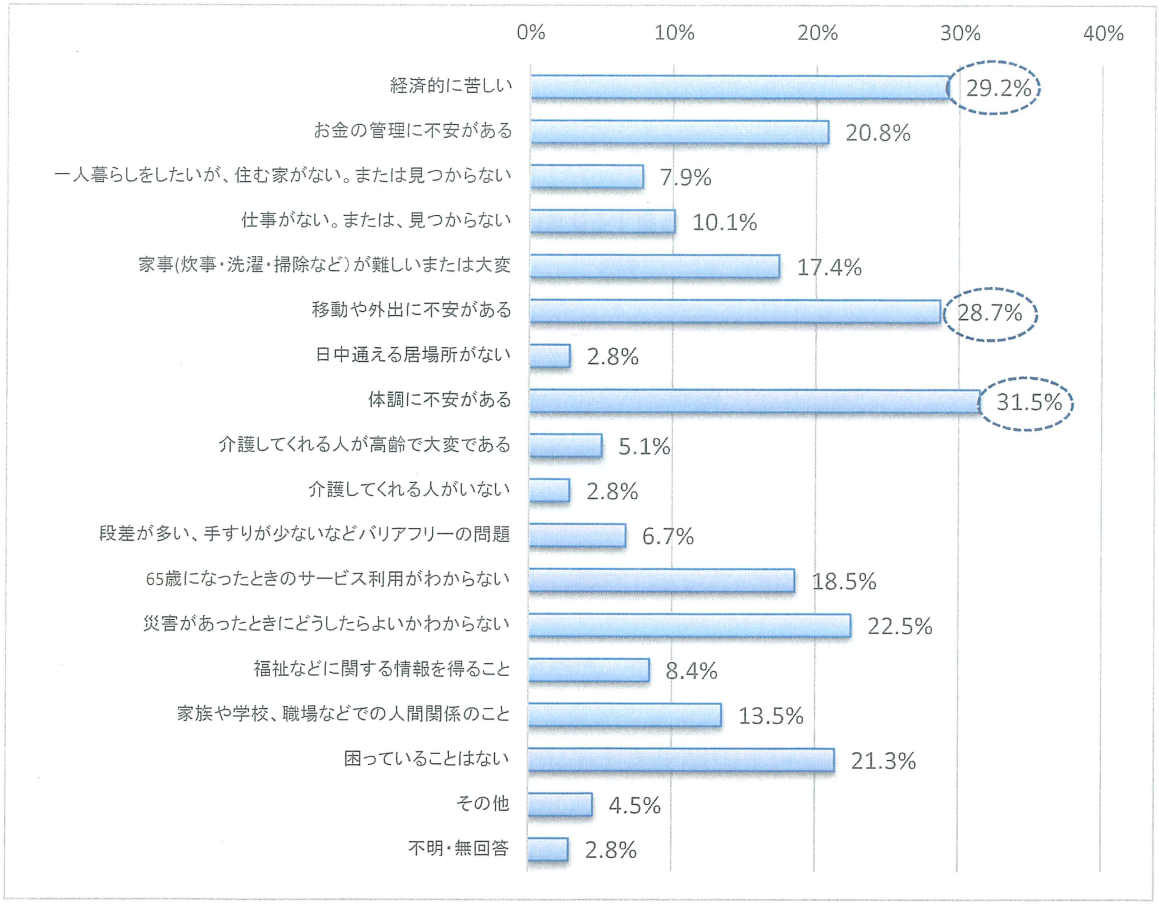


その他：カフェパート（１人）

●障がい種別と日中の活動場所（問3と問5のクロス集計）

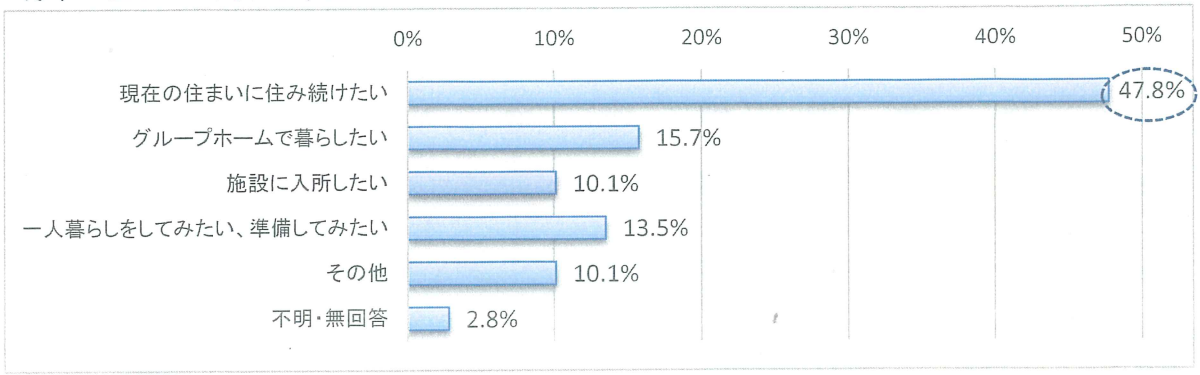


6 現在の暮らしでの困りごと　（複数回答 あてはまるものすべて）【%】



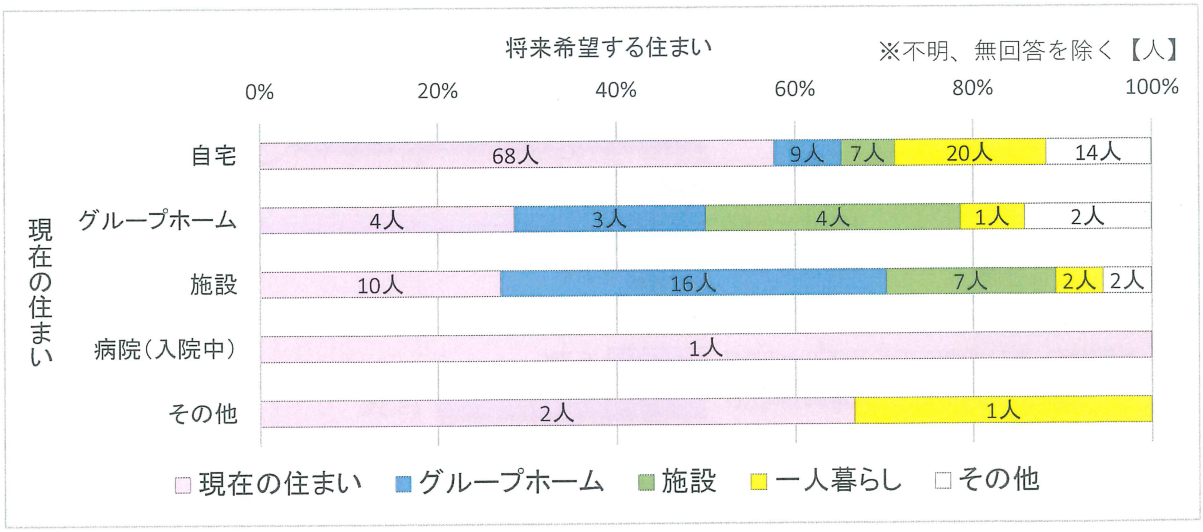
その他：親の介護もあるので大変です。（１人）／スーパーや公共施設の障がい者のパーキングが少ない。（１人）／高齢の母親が実家をゴミ屋敷化して住めなくなり、加えて認知症気味で日常生活に危険が目立つためやむを得ず同居しているが、帰宅の目処が立たず大きな負担になっている。（１人）／息子が仕事をしない。家にいて引きこもっている。（１人）／近所の目などが気になる。（１人）／父親の事で不安がある。（１人）／理解困難（１人）／災害時の通院治療が少し心配。（１人）

7 将来の住まいに関する希望　【%】



その他：わからない。（3人）／自宅へ帰りたい。（1人）／考えてない。（1人）／言語なく選択も困難な為不明。（1人）／マイホームに住んでみたい。（1人）／かのじょとどうせいをしたい。（1人）／1（現在の住まいに住み続けたい）と4（一人暮らしをしてみたい、準備してみたい）で悩んでいる。（1人）／現在は賃貸に住んでいるが、将来的には実家を整理・修繕して戻りたい。ただし実家はゴミ屋敷化し生活インフラも大きく痛んでおり現状では帰れない。また賃貸の連帯保証人が母親の状況によって維持が難しい可能性がある。（1人）／薬がかかせないため病院とか。（1人）／このまま住みたいけどひっこしをしなければなりません。（1人）／新築の家に住みたい。（1人）／引っ越したい。（1人）／理解困難（1人）／交通の便の良いところ（市街地）に住みたい。（1人）／マンション（1人）／自宅で暮らす（現在は配偶者の勤務先の社宅）。（1人）

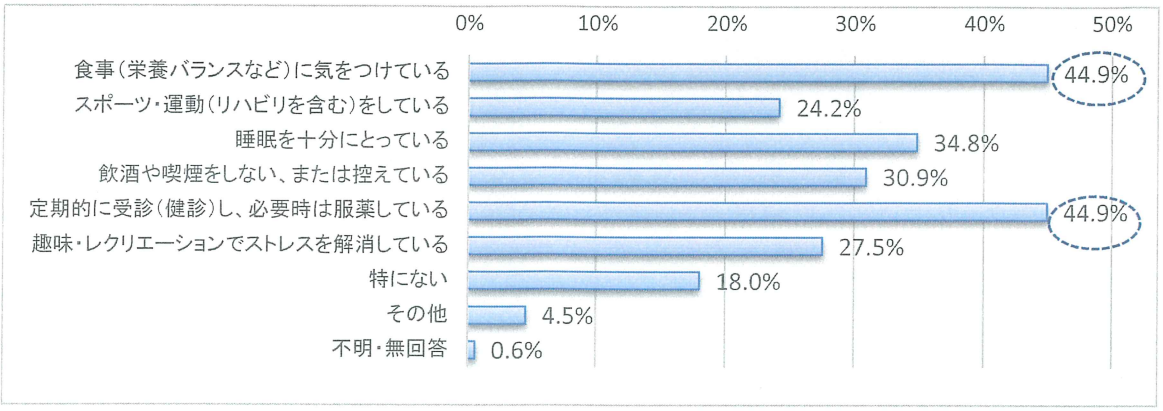
●現在の住まいと、将来希望する住まい（問4と問7のクロス集計）



■住まい、暮らし、日中活動についての回答からわかること
・回答者の約7割が「自宅暮らし」を続ける一方で、グループホームの利用も2割を超え、地域での小規模な生活の場が定着しています。今後について、「現在の住まいに住み続けたい」という声が半数近くを占めるものの、グループホームや一人暮らし、施設入所など、新たな生活への移行や自立への意欲も一定数存在している結果でした。
・日中活動について、療育手帳所持者は障害福祉サービス事業所などを利用して活動の場が確保されている一方、身体障害者や精神障害者では「自宅」で過ごす割合が高い結果でした。外出控えの要因として、生活の困りごとで回答が多かった「体調への不安」、「移動・外出への不安」、「経済的な苦しさ」が複合的に影響している可能性が考えられます。また、自由記述では、高齢の親の介護への負担感や、高齢の親の状態に起因する将来の生活への不安等の声も寄せられました。

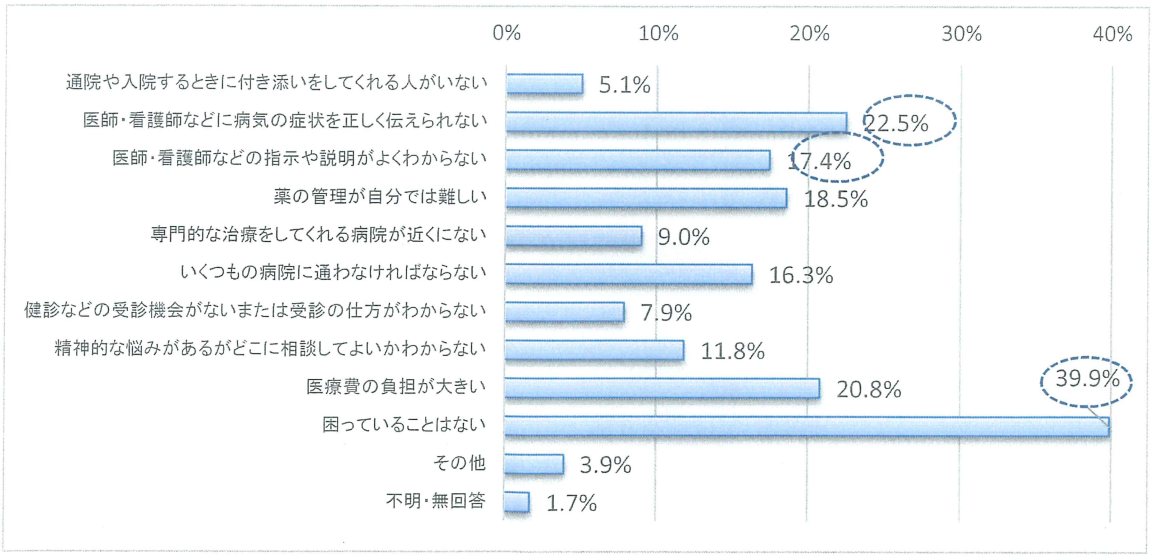
■保健・医療について

8 体調を維持するために気を配っていること　（複数回答 あてはまるものすべて）【%】



その他：太っているから、きのうからダイエット。（１人）／服薬は自分にとって重要です。（１人）／無理しない。（１人）／体調不良の予兆あり、気づける。（１人）／病状の変化や追加があるたびにネットや生成AIで情報収集し、自分なりに対策を練っている。（１人）／訪問看護（１人）／訪問看護の週１でお世話になっている。（１人）／理解困難（１人）

9 健康管理や医療について、困っていること　（複数回答 あてはまるものすべて）【%】



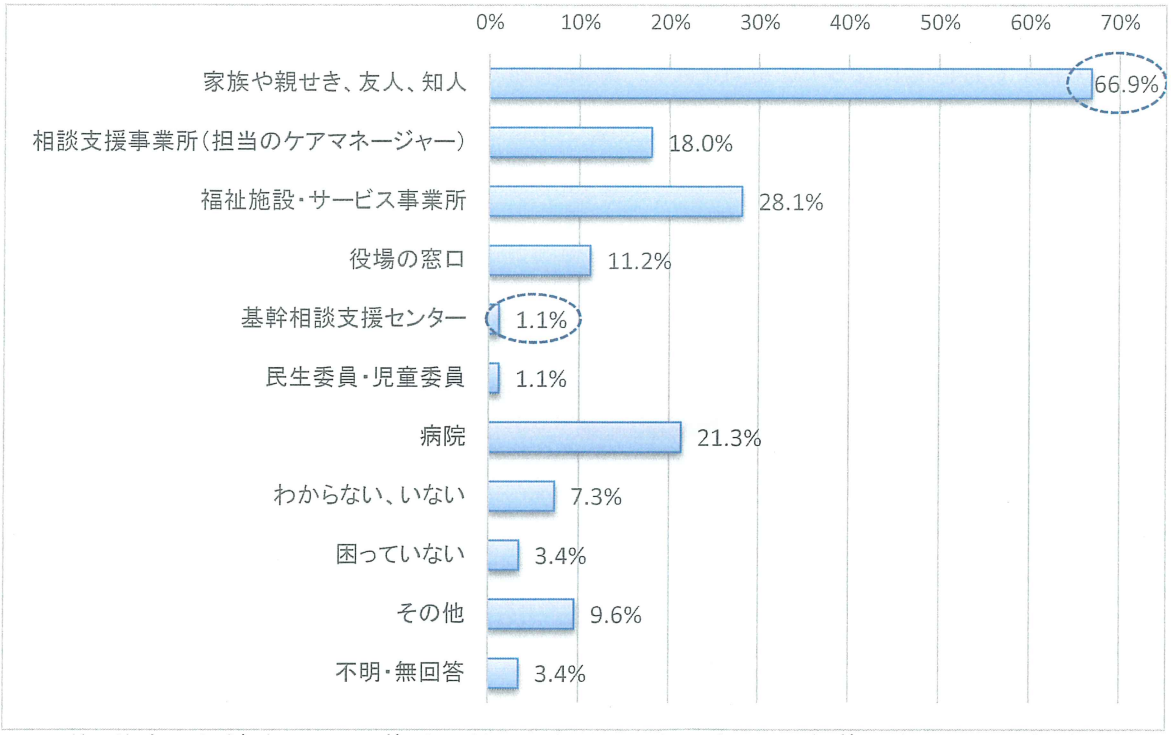
その他：困っていること、わからないことをうまく他者に伝えられない。（１人）／車がないため基本的に息子に頼んでいるが、いつまで頼めるかわからない。バスが通っていない場所では足も悪いので大変。（１人）／足のいたみが治らない、心配です。（１人）／あてはまらない。（１人）／いやな事を思い出すけどどうかいけつして行けばいいかわからない。（１人）／理解困難（１人）／かわりはなし。（１人）

■保健、医療についての回答からわかること

・回答者の半数近くが「栄養バランスに気をつけた食事」や「定期的な受診・服薬」に努めており、主体的に健康維持に取り組んでいることがわかりました。
・医療に関する困りごとについては、約4割が「特になし」と回答する一方で、残りの約6割については何らかの医療・健康上の困りごとや不安を抱えていると回答していました。具体的な内容として、「医師や看護師などに病気の症状を正しく伝えられない」、「医師や看護師などの指示・説明がわからない」といったコミュニケーションに関する問題が約2割を占めており、対応の検討が必要です。また、服薬管理の必要性や医療費への負担も感じていることがわかりました。

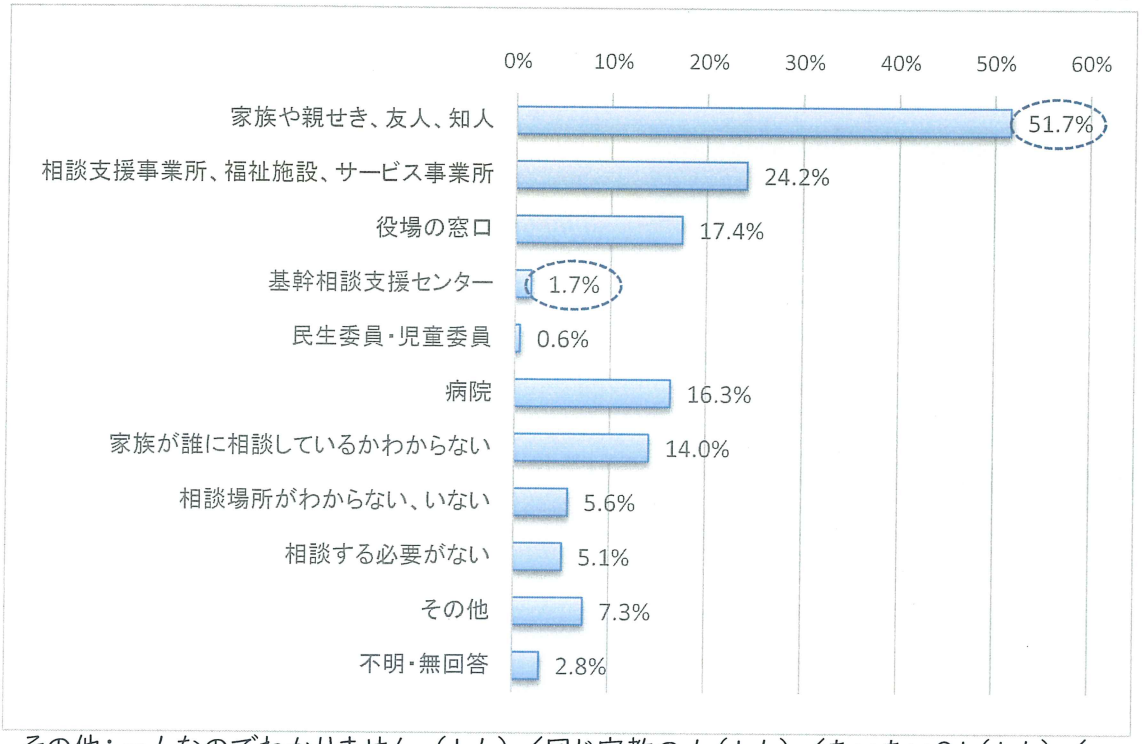
■相談と権利擁護（成年後見制度など）について

10 困ったとき誰に相談するか　（複数回答 あてはまるものすべて）【%】



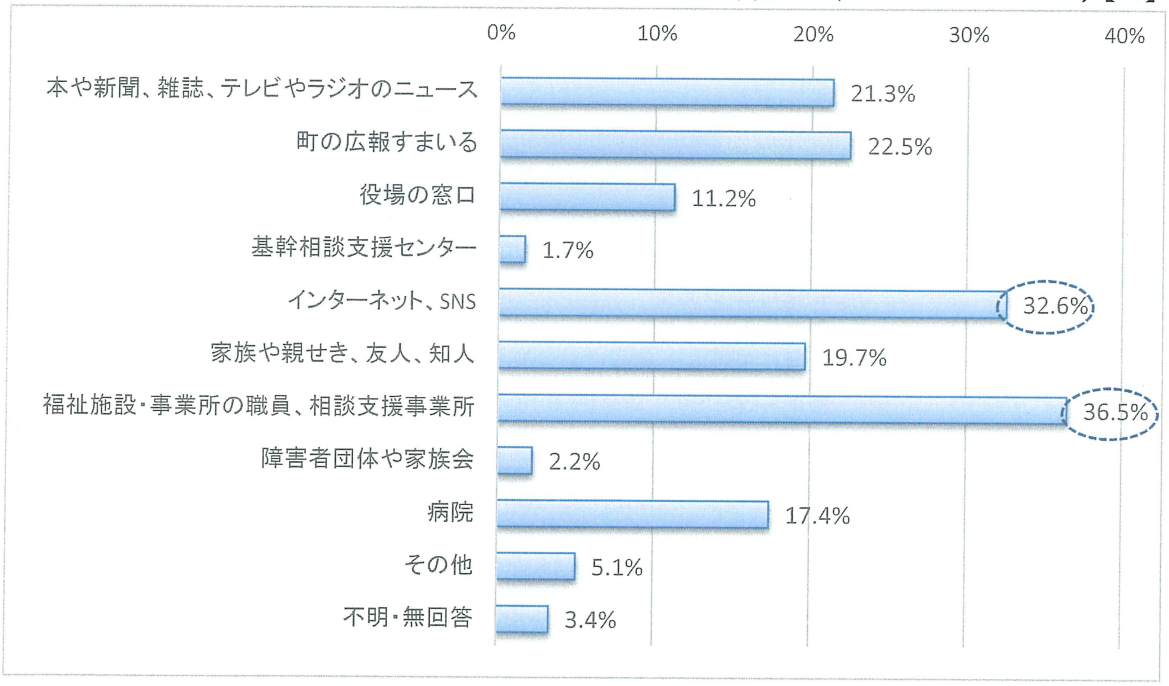
その他：他者に相談することが苦手、どうしたらいいかわからない、言葉にすること、選択することが苦手なため周囲で相談して物事を決める。（1人）／生保のケースワーカー（1人）／chatGPT（1人）／本人の困りごとを把握するのが難しい。（1人）／地域包括支援センター、生成AI（1人）／相談しても解決しないのでしません。（1人）／職場の上司、知人（1人）／そうだんをしない。（1人）／役場や振興局に相談しても何もしてくれない。（1人）／職場の支援員さん（1人）／保佐人・事務員（1人）／訪問看護（1人）／職場の上司（1人）／困っている内容に合わせた専門家。例えば、医療保険についてですと、ファイナンシャルプランナーや保険の代理店など。（1人）／理解困難（1人）／職場の人（1人）／訪問看護師（1人）

11 家族の相談先　　（複数回答 あてはまるものすべて）【%】



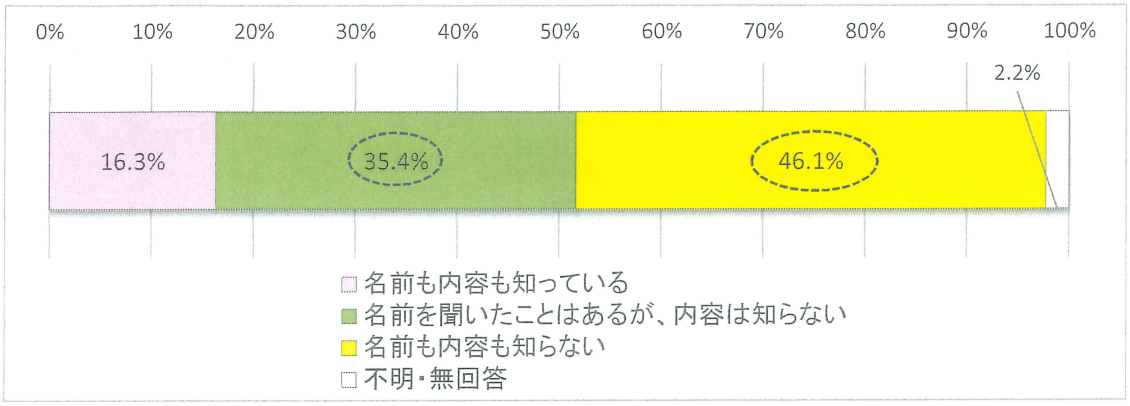
その他：一人なのでわかりません。（１人）／同じ宗教の人（１人）／あいあい21（１人）／わからない。（2人）／家族は私の事はムシです。かかわりない。（１人）／私（１人）／保佐人、事務員（１人）／一人暮し（１人）／理解困難（１人）／自分（障がい者）の精神科主治医（１人）／訪問看護師（１人）／ない。（１人）

12 障がいや福祉サービス等に関する情報を知る方法　　（複数回答 主なもの3つまで）【%】

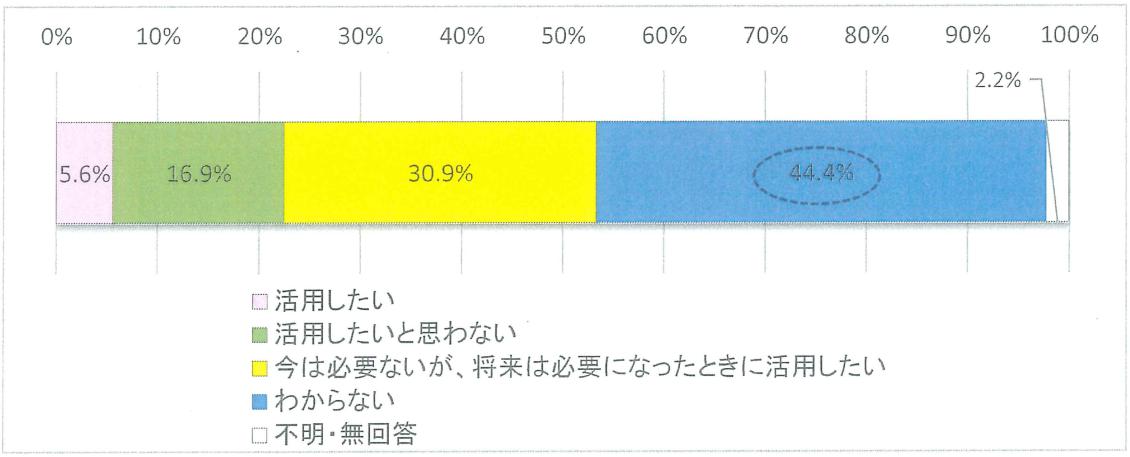


その他：本人が情報を意識していない。（１人）／情報の理解が難しい。（2人）／関心がない。（１人）／社会福祉協議会、生活支援センター（１人）／知らない。（１人）／得ていない、得る方法が分からない、冊子等を渡されても字が二重に見えるので読めない。（１人）／訪問看護、ケータイ（１人）／無回答（１人）

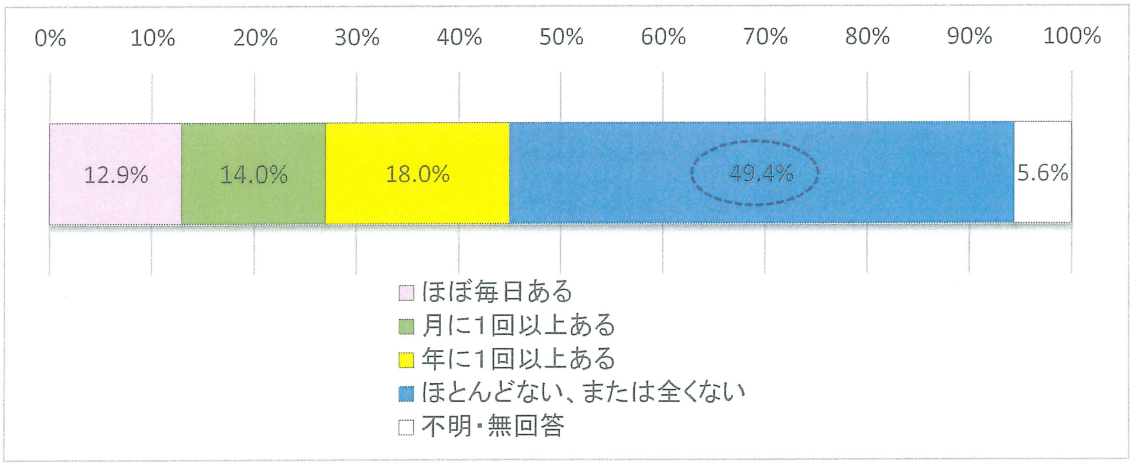
I3 成年後見制度について知っているか　【%】



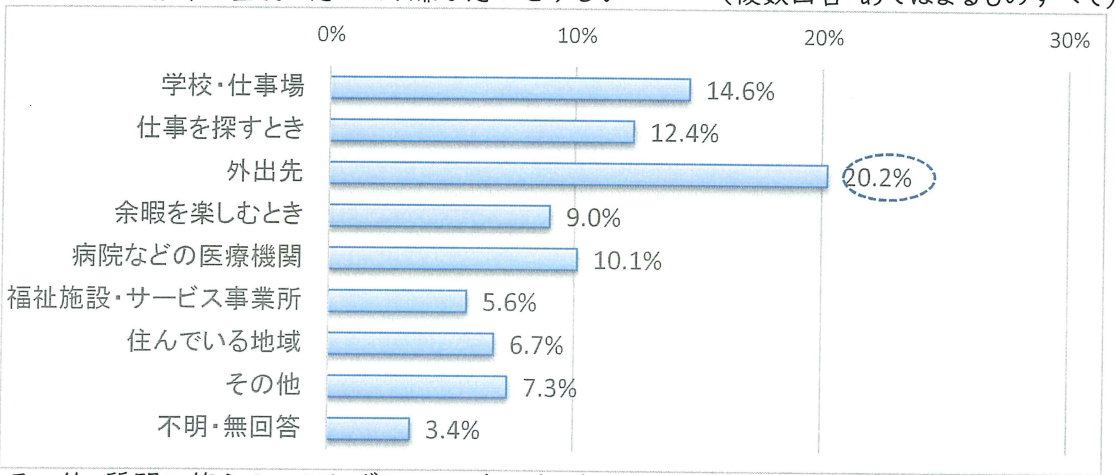
I4 成年後見制度を活用したいと思うか　【%】



I5 障がいのあることで差別と感じることや嫌な思いをすることがあるか　【%】



16 どのような場所で差別と感じたり嫌な思いをするか　（複数回答 あてはまるものすべて）【%】



その他：質問に答えるのがむずかしい。（１人）／SNS等コミュニティに参加しており、対面にて集まろうとすることがあるが、車等の移動手段がないなど惨めな思いをすることがある。（１人）／重度の障がいを有しているため不明。（１人）／脳ドックを受けたいがペースメーカー（私のペースメーカーはMRI OKなのに）の人は受けられない。（１人）／インターネットでの書き込み。（１人）／配偶者からの心無い言葉。（１人）／本人というより介護者など。（１人）／TV等のメディア、ドラマ等での扱い。（１人）／役場、振興局（１人）／SNS（１人）／わからない。（１人）／なし、（１人）／無回答（１人）

■相談と権利擁護（成年後見制度など）についての回答からわかること

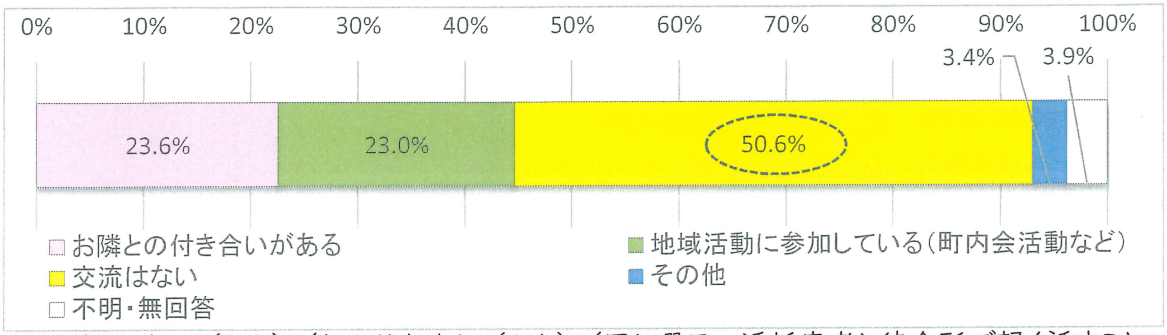
本人、家族ともに相談先は「家族や親戚、友人、知人」が最も多く、近しい人や、相談支援事業所、普段からかかわりのある身近な事業所に相談していることがわかる結果でした。一方、町委託の基幹相談支援センターと回答した割合は低く、専門的な相談窓口とのつながりが十分に機能され、一人ひとりが自ら気軽に相談できる仕組みづくりが求められます。情報の入手ルートについては、福祉施設や相談支援事業所、インターネット、SNS等を積極的に活用している様子が伺えることから、こうした経路を活用した情報発信方法について検討の余地があります。

成年後見制度については、約8割の人が、制度の中身を十分に理解しておらず、そのため利用意向に関しても「わからない」とする層が厚かったと推測されます。

日常的な差別・嫌な経験について「ほとんどない・全くない」が半数を占めていました。今後も、地域の理解の啓発に取り組むとともに、行政だけでなく官民協働で取り組む体制づくりや、定期的に取り組みを見直す体制づくりが必要です。

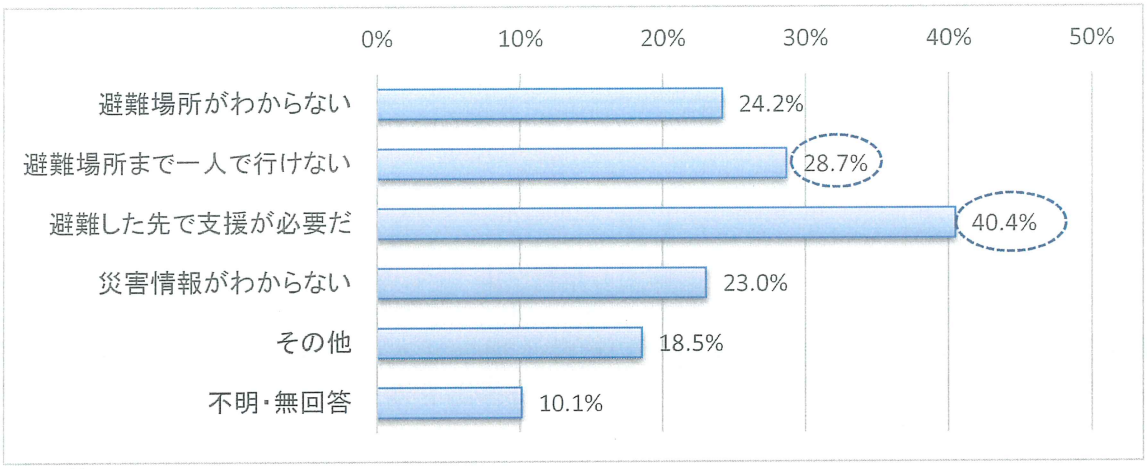
■地域生活・社会参加・防災について

17 地域や近所の人と交流があるか　【%】



その他：たまに。（１人）／わかりません。（１人）／同じ曜日の透析患者と待合所で軽く話すことがある。（１人）／挨拶、ななめ隣の人に野菜をもらったりしてる。（１人）／付き合いというほどではないが、お隣に野菜を渡したり、あいさつはしている。（１人）／町内会の人と会ったらあいさつする。（１人）

18 災害時にどのような不安があるか　（複数回答 あてはまるものすべて）【%】

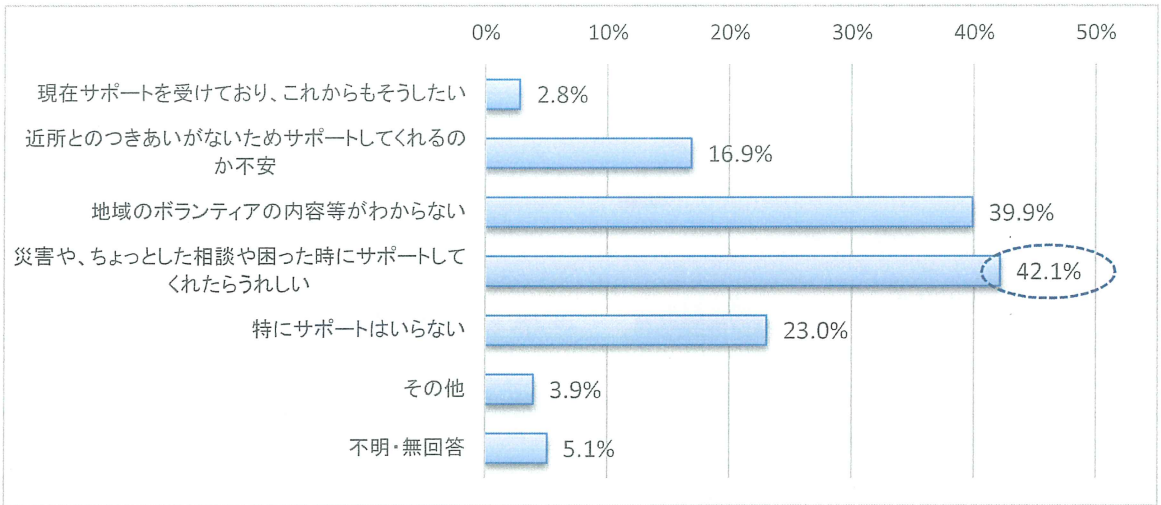


その他：

- 一人で閉じ込められたときどうしようと思っている。
- 一人ですんでいるので不安でいっぱいです。
- シーパップをつけてるので、その点がどうなるのか？不安です。
- たくさんの人がいる避難所は安心して眠ることができないし、不安になる。処方箋が無くなった時はどうすれば良いのかわからない。
- 施設自体が町の避難場所に指定されている。
- ふだんとスケジュールや支援者が変わると、不安定になり、同じ確認を何度も行うため、その対応ができるのか不安。
- 動物がいるので避難所につれていけるか。
- やるだけはやったのでその他はありません。
- 自宅前が避難所だが、荷物を持って移動は難しい。重いもの持てない。
- 夫がいるのでだいじょうぶ。もし困ったときは、そのつど相談するのでその時よろしくお願いいたします。
- こだわりが強く、普段と違う行動、場所に急に移動することが難しい為、逃げ遅れるかもしれないいう不安がある。ほかの人の行動も気になってしまう為、大勢の中に長時間いるのが難しい。
- 私は聴覚障害があり人工内耳を使っているのですが、充電が切れたとき全く聴こえなくなるので

ゆうせん的に充電をさせてもらえるかが分らないこと。
・わからない。
・お母さんと連絡が取れなくなるかもと思うと心配。精神的な負担が大きくならないか不安（不安定になってしまう、悪く考えてしまう）。
・お母さん、お父さんと連絡が取れなくなるのが不安。
・透析患者のため、数日おきに透析を受けられないと生命の危険がある。災害時の透析継続が最大の不安。
・人との関わりが苦手（話せない）（話すのにとても勇気がいる）。薬がないと困る。
・得たい情報を得られる環境、自由、空間があるかどうか。
・スマホがもってないため、どうやって連絡すれば良いかわからない。
・防災士の資格あり 北海道防災マスター。
・自宅で猫を飼っているので避難所等に行けないかもしれない。
・災害に合った事がないので不安、その時じゃないと分かりません。
・災害の内容によっては気付けるかどうか。
・理解困難
・特にない。（9人）

19 近所の人や地域のボランティア等のサポートをどう感じるか　（複数回答 あてはまるものすべて）【%】



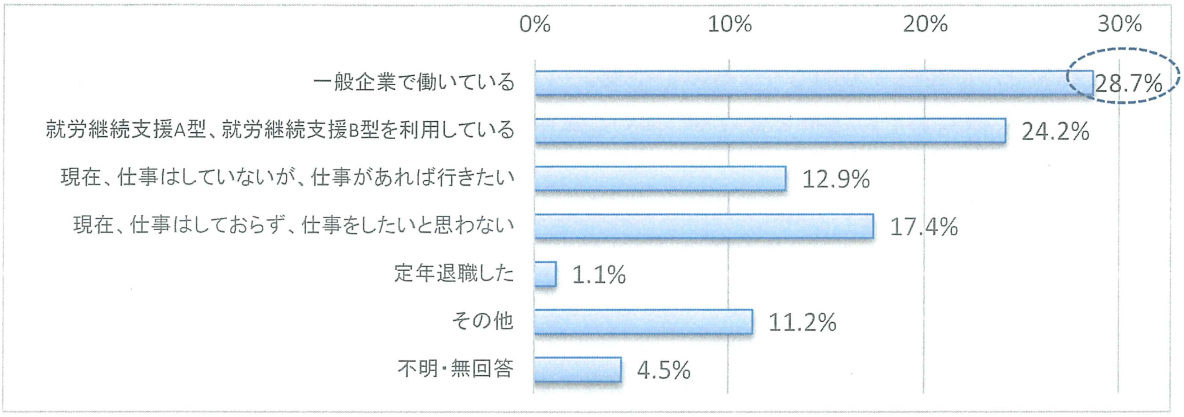
その他：しょうがい者の人に、よりそってくれる人たちがいると、うれしいしたすかると思います。（1人）／今は働いているので、もっと老人になった時にはおねがいします。（1人）／仕事の失敗に対して、失敗したことを覚えるのが苦手です。（1人）／その時になってみないとなにがこまるのかをそうぞうできない。（1人）／逃避誘導声掛けをしてほしい。（1人）／理解困難（1人）／不明（1人）

■地域生活・社会参加・防災についての回答からわかること

地域や近所の人との交流について「交流はない」と答えた人が約半数を占め、日常の挨拶程度はある方もいるものの、人間関係が深いつながりには発展しにくい希薄な地域の現状が見受けられました。「災害や困りごとの際にサポートをしてくれたらうれしい」と期待する声がある反面、「近所とのつきあいがないためサポートしてくれるのか不安」というジレンマを抱えていることも伺えます。特に防災面では、避難先での支援や移動手段に対する不安を抱える人が多く、地域に支援者がいることが望ましいと考えられます。

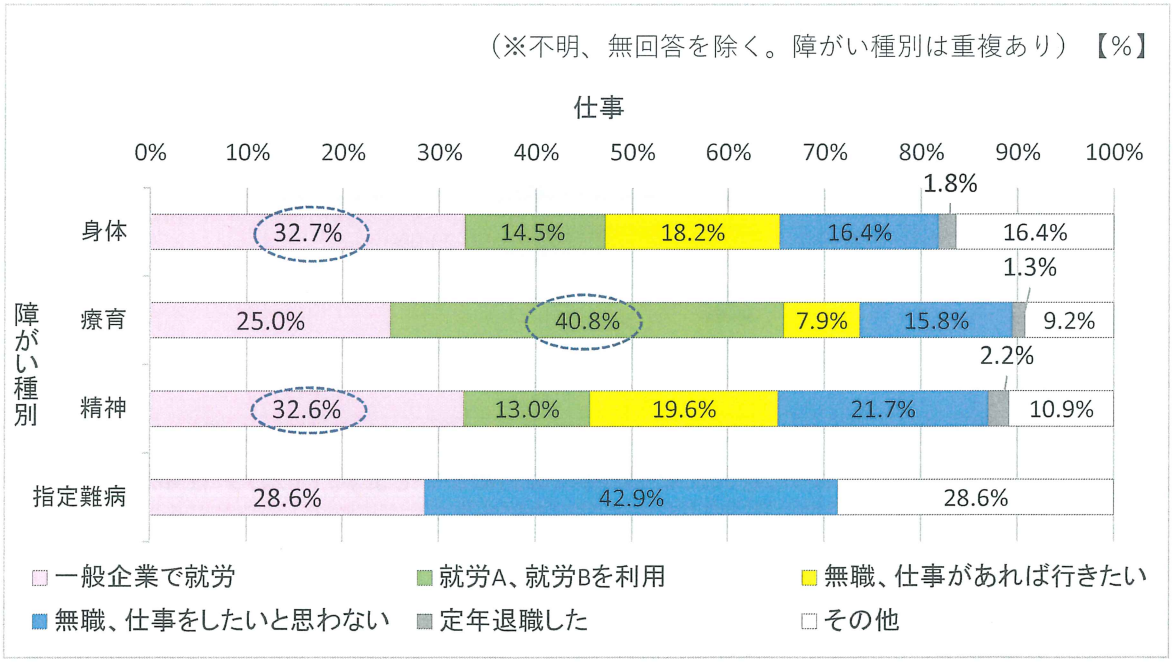
■就労について

20 仕事をしていますか　【%】

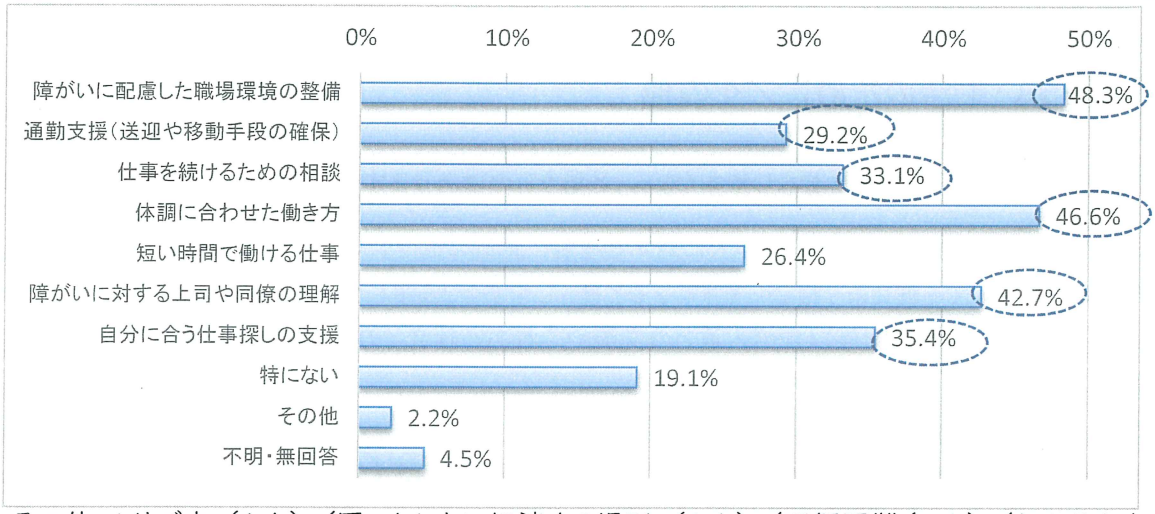


その他：年齢、身体能力的に厳しいため仕事をしたいと思うが。（１人）／障害のためできない。（2人）／農業（3人）／なし。（１人）／就労歴なし。（１人）／施設入所（生活介護）（１人）／大学生なのでしてません。（１人）／家で働いてない。（１人）／くびにされた。（１人）／生活介護で仕事をしている。（１人）／現在仕事しておらず、仕事をする予定なし。障害年金の申請を予定している。（１人）／病気の為できない。（１人）／ムリだと思う。（１人）／医師からまだと。自分ではわからない。（１人）／バイト（１人）／自由業（１人）／無回答（１人）

●障がい種別と仕事（問3と問20のクロス集計）



21 どのようなサポートがあれば働きやすいと思うか　（複数回答 あてはまるものすべて）【%】



その他：ムリです。（１人）／困ったときに相談する場所。（１人）／理解困難（１人）／わかりやすく簡潔に話してほしい。（１人）

■就労についての回答からわかること

どの障がい種別においても約3割が一般就労として働いています。身体障害者手帳及び精神障害者保健福祉手帳所持者では、療育手帳所持者と比較して一般企業での就労割合が高く、「仕事があれば行きたい」と回答している割合も高い結果でした。療育手帳所持者では就労支援事業所の利用割合が高く、生産活動や日中活動の場として機能していることがわかります。

サポートのニーズについては、①職場内に関する内容（障害に配慮した環境整備や上司・同僚の理解、体調に合わせた働き方）、②相談支援に関する内容（仕事に関する相談や仕事探しの支援）、③職場外に関する内容（通勤の支援）の3つの要素が挙げられており、特性や健康状態に合わせたソフト面の配慮や支援が必要と考えます。

Ⅲ 巻末資料（自由記述等）

■暮らしやすい生活のために／その他

問22 芽室町が「こうなれば、もっと暮らしやすくなる」と思うものはありますか。

- 障がいのある人達の特性や配慮等１人１人に対する理解に真剣に向き合い何でも気兼ねなく相談できる窓口が少しでも増えたり相談しやすくなると暮らしやすくなる事につながると思う。（自分の家以外で、良い居場所や家族以外の人達との交流やふれあい社会とのつながり等で不安感がなくなる。）
- なんでも相談できる窓口があれば！暮らしやすくなる。
- 色々な事を相談した時に、本当の意味で親身になってくれる事を望みます。障害がある方がなんとなく少なくなって生きている、では何の進歩もない様な…理解を深める様な事も進めてほしいです。
- グループホームでの生活をできるだけ長く続けたい。
- グループホームがあったらいいです。
- グループホームの整備。なんでも相談できる窓口。親が年をとったり、なくなったりした時に自分が安心して生活できるみとおしができる事。
- 自分は精身心しょうがいがあり、今子供とくらしているが、もっと良いグループホームや住みやすいグループホームをもっともっと建ててほしい。
- グループホームの整備をお願いします。
- グループホームと福祉事業所を増やしてほしい。
- グループホームの整備、簡単な申請手続き。
- 住宅の整備。
- １人暮らしをしたい。
- 更なるグループホームの整備に相談窓口を続けてほしい。休日の通い行きの楽しみに好きな場所に買物も。
- ちょっとした変化や、介ゴ者や支援者の対応で本人がとても不安定になるため、今年も今の生活が続けられると安心（本人も。）
- 年をとってもグループホームでの生活をつづけられるようにしてほしい。
- 日中一時をつかいたい。なるべく芽室ですごしたい。バスのじかんをふやしてほしい。
- 今後も長い目で見て、よく知ってる仲間や支援者を安定した生活が送れるようにしてほしい。
- 年をとってもグループホームでの生活を続けられるようにしてほしい。
- 障害のある人でも気軽に入れるようなお店やカフェがあると、嬉しいです。
- 病院が近い施設があるといい（老人ホームのような）老後は仕事をしないで楽しく暮らしたい。
- 図書館に読みたい本を増やしてほしい。
- 交通手段の充実、商店街がシャッター街になっているのをなんとかしてほしい、買い物できる場所が少ない。モンベルがきても一部の人のためにしかならず、高齢者には関係がない。嵐山振興にはつながるだろうが、それも一部の人の話。
- Wi-Fiつけてほしい。
- 簡単な申請。
- なんでも相談できる窓口、簡単な申請手続き。
- 申請に関しては、ワンストップ制で済ませられる体制を作っていただけるとありがたいです。医療、

福祉、障害などいろいろな制度があり、その都度何度も申請をしなくてはならないことがあります(芽室町ではなく、北海道に申請するものもあります)。制度上難しいのかもしれませんが、当事者からすると一度で全てが済ませられると非常に助かります。

- 役場などに行った時、１人では手続きが難しかったり、話を理解することが難しいので、一緒に手続きを手伝い、一緒に話を聞いてくれる人が常駐してくれているといいなと思います。
- 困ったとき直ぐに相談できる窓口があんしん。手続きで、もし、わからなかったらサポートしてほしいです。よろしくお願いいたします。
- 仕事を探してほしい。就労体験が行きづらい。
- 芽室町のハローワークはどこが窓口かわからないし、求人もなかなか更新されないので、WEBサイトを見ても、”うーん・・・”と思って終わってしまう。すまいるにも求人情報を載せて下さると、大変助かる。
- ストレスがかかると病気が悪くなってしまうから楽しく働くためにはどうしたらいいのかな？
- 足が悪いので、ジャガバスの無料化を望む（高れい者及び障害者）。
- 西地区の十勝バスのダイヤとけいろを見直してほしい。
- バスやJRの本数がもっと増えると便利になるので助かります。例えば、特急とかちは全て芽室駅に停車しますが、特急おおぞらは2本しか停まりません。また、バスは午後7時台の便しかないので、せめて8時台、ないし9時台にもあると助かります。
- 障がいに伴った、生活機能の獲得が家族以外でも行えるところがあれば家族としては安心できる（生活機能→セルフレジ、１人でトイレなど）。
- （芽室町トイレマップの作成）思い描いているのは、市街地のトイレの場所をマルで示したマップ。芽室公園や芽室駅など一年中使えるトイレは赤丸。役場や図書館など使える時間帯が決まっているものは、その時間帯を記述。小さな公園など、冬期（１１月～4月？）使えないトイレは青丸。有料でもいいので、そして何枚かに別れてもいいので作成して頂けるとうれしいです。
- 歩道の整備。車椅子で生活していますが場所により歩道が荒れているためやむを得ず車道を走行する事が多い。
- 福祉に係るホームページは表題と連絡先の紹介が多い。もう少し具体的な説明又は例があれば良いと思う。PDFのA4、１枚掲載を超えるもの。夏季、車道と歩道の間の縁石高さ15㎝程度のものが移動の障がいになり避難経路の妨げになっている所がある。歩道が古くなって、盛り上り、亀裂陥没、急な坂など車イスで転倒する、又はしかけることがある。避難場所が保育園になっているが設備が障害者対応になっていない。冬期歩道の除雪は年々良くなっていて歩行者には問題ないと思えるが、車イスでの利用はまだ難しい。できればアスファルトが見えるぐらいが望ましい。
- 外見では障がい者とわからないと思います。（ペースメーカーいれているので）障がい者用パーキングに車をとめると「ここは車イスの人用だよ」何度かいわれます。買い物して荷物を持って歩くのは息がきれてムリなのです。障がい者用パーキングにとめたいけど、文句言う人がいるので悲しくなります。外見ではわからない障がい者用いることを町も国も、もっと世間にお知らせして欲しいです。また、スーパーや役場、図書館の障がい者用パーキングが少ないです。
- 私は障がいがあることで、差別を受けていると感じることがたくさんあります。一般企業に勤めて、毎月少しずつお金を貯め、資金が貯まったので、一人暮らしをしようと、思い、気になるアパートを紹介している不動産屋さんに問い合わせると、どこの大家さんも障がいがあるなら貸せないと、家の内覧を断ってきます。どうしてですか？炊事、洗濯、車の運転もできますと言っても人の話を聞かない。憤りを感じます。それだけではありません。障がい者は、一般企業で働くのもハードルが高いと感じます。何故なら面接すら受けさせてくれないことも珍しくないからです。仕事がない、家がない、そんな障がい者はのたれ死ねと言うのでしょうか？いい加減にしてほしいです。障がい者は何

もできない、社会のお荷物だというレッテルを貼っているのは社会の方です。福祉に優しい町ではありません。

- たとえば、もっとごこうれい者をやさしくしたり、いいかたなど気をつけてほしい・・・障がい者のりかいなどのかかわり方をみじかにかんじてほしい・・・人のきもちも考えてほしい（言ったがわと言われたがわ。）
- もう少し障害に優しくしたり、活躍できることを増やせばいいと思う。
- 手帳があることでジムや公共交通機関が安くなるため、助かっている。
- 金銭的な不安を無くしてほしい。
- 水道光熱費などがもっと安くなると助かる。自立支援医療費の病院が指定された精神科だけでなく、婦人科なども医療費が１割になると助かる。リストカットの跡があっても働ける職場があるといい。
- 災害時に、安全にひなんできる場所が１つでもあると安全な暮らしが送れます。
- 音声ガイド
- 障がいだけでなく、病気や高齢者を見守る制度がもっと充実してくれるとよい。（冬の除雪など、ボランティアがあるのは知っているが、今の形では、頼む（将来的に）ことにためらいを感じる。）
- 町が管理している道路用地の草むしりを町がやってくれない。近隣から苦情がくるから自分で草刈りしている。役場でもお互い様だのと言われた。それでも役場に何度か話ししたことがあったが、相手にしてくれなく困っている。このことが、自分の精神状態の体調を悪くしている。冬の除雪にしても除雪後、家の前に雪を置かれると自分で除雪できない。役場に話しても自分で除雪してくださいと言われた。
- 障害者同士が気軽に交流できる機会があればいいなぁと思います。
- 休みの日、別の日中活動があれば行きたい。逃げ込める所がほしい。（家族と揉めたとき逃げたい。）
- 障がい特性に合わせた居場所づくり。簡単な申請手続き。障がい者はハローワークに通っても仕事がなかなか見つからないため、仕事の選択肢が増えると良い。
- 身体障害者向けの運動教室があればいいなと思います。
- かいたところで、芽室町がくらしやすくはならないと思います。むだなこと。
- 今のサービスは良いけど、良くなりすぎ。障がい者、高齢者甘えすぎ。
- 特に思いつかない。居住するだけであれば、特に困っていない。
- 今、思いつかない。
- 現在過ごしやすいです。
- 特になし。
- 上記の例に記されてる事がほとんどなので、特にありません。
- 今は思いつかない。
- 何も今は思い付かない。
- 今は具体的な施策は思いつきませんが、何かをしなければ「もっと暮らしやすくなる」ことはないと思います。

問23 町の障がい者福祉施策について、ご意見・ご要望があればご自由にお書きください。

- 障がいをもっている人専用の、公営住宅のような住宅あるいはマンションがあると良い。家賃が安く、一人暮らしがベースだが、外出時間の制限がなく、見守りや支援を受けられる体制があるようなところ。
- 一般しゅうろうができる障がい者がふえたらいいと思う。
- 今は自分に合う仕事がない。この年になると、草むしりやスコップなど力仕事に限定される。今更そんな仕事は出来ない。自分に合う仕事があればと思うが、こんな自分に見られる人も嫌だろう。障害サービス（就労）も押しつけだ。利害しか考えていないだろう。そういうところには働きに行くことはない。
- 15年以上前に働く時はしてくれましたがそれ以外は何もしてくれない人に恐怖さ感じてます。自分から人にかかわるのはむずかしいです。
- 自宅で働けるよう、道外の就労継続支援B型で動画編集を教えているところがあり、前向きに働くく意思があったが、芽室町では道外は許可していないと言われ、やりたいことができなかった。芽室町にはがっかりしたので、期待などしていません。
- はったつセンター、きゅうしょくセンターでいっつもお仕事ができる。
- 就労支援A型、B型問わず、誰でも働ける環境づくり。グループホームの拡充。きょうだい児やヤングケアラーの状況把握。LGBTQの状況把握。
- 障がいのある方が1人でも取り残される事がない様に1人1人が適切な支援を受けたり出来る体制を誰でも分かりやすい様に整えたりしてほしいです（明確化）。町外より町内で障がい者が働ける場所が1つでも2つでもあると良いです。その為にも役場の支援を宜しくお願いします。
- ふつうれっしゃを療育てちょうでのりたい。十勝バスのあさのじかんをふやしてほしい。Aがたでしごとをしたい。
- 移動しやすく、介護タクシーの整備。
- コミュニティバス『じゃがバス』に障がい者割引を導入してほしい。また在宅心身障害者等通院通所交通費助成の対象距離（片道2km以上）を緩和し、1km程度の通所でも利用できるようにしてほしい。（自宅から病院まで約1kmGoogleマップ徒歩1.2kmのため現在対象外。）
- 頑張ってくれていると思います。が、人によっては冷たいなと感じる場面がある。
- 仕事について相談しやすくして欲しいです。
- そもそも障がい者と接してる仕事に携っている人達が、ちゃんとその自覚を持って働いているように感じません。役場の福祉課に行っても「すみません」と言っても誰も窓口に来ない、仕事の送迎を忘れる、上司に相談したいことを仲介してほしいと、福祉の人に相談したら、何故か切れた口調で物を言ってくる、使えないと判断した私は、自ら上司に意見を述べて相談しました。その方は、私の意見を上司に言うということは、クビになるかもしれないんだよと言われました。従業員は、会社のロボットではありません。全て会社の言うことを聞けば良いというわけではありません。暮らしやすくなるとか言う前に、自分がどうゆう仕事に就いているのかという原点をよく考えるところから始めなきゃだめですよね。福祉も、病院も、頼れない障がい者はどうやって生きていけば良いのですか？私は一般企業に勤めているので、皆さんと同じ給与をもらっていますが、A型、B事業所の時給では皆さん、低すぎて暮らせないと思います。口を揃えて、皆さん、住む所がないならグループホームに入れば？と言います。何故、私は尊厳まで踏みにじられなければいけないのでしょうか？障がいがある人にも、生きる権利はあります。主張する権利もあります。
- 芽室町の障がい者福祉施策について意見等しようとしても、ホームページなどどこを見れば、施策について知ることができるのか、わからない。知ることができる場所をお知らせ願いたい。

- 施策が何なのか全くわからないし、周知もしてないと思う。それは実行されてない事と同じで、意味がないと思う。施策を策定したのなら、どんな人が対象で、どんな内容なのかをもう少し町民にアナウンスする事も大切だと思う。就労支援施設もどういうところがあって、どこにあるのかわからない。情報が全く取れないというのは困るというか、ちょっとな・・・と思ってしまう。
- 問23書いたことについて、よりよい方法を探していくことと、それを町民全体に伝えていくこと。
- 芽室町の障がい者福祉施策がどんなのがあるかよく知らない。
- 障害者手帳の事など丁寧に対応していただいております。ありがとうございます。
- 芽室町の福祉施設は大変よく機能しています。役所の担当者も親切で感謝しています。
- いつもありがとう。
- 代弁や通訳ができる人（家族以外に）がいれば、家族がずっとついていなくても安心できる。家族でも本人と言語の壁で意思疎通が難しいこともあるため、日本語能力を低下させないようにする支援もあれば助かる。
- 実状の医療器材は、価格が高騰していて購入時の補助金との格差が大きく購入できずにいます。価格に見合う補助金を、又もう少し移動しやすく、介護タクシーの補助金をふやしてほしい。
- 町の施策ではないのですが、マイナンバーカードに障害者手帳の機能があればよいと考えます。(運転免許証や健康保険証のように。)
- 地震や災害のとき障がい者の中には避難所で過ごせなく（大声を出すなどで周りとの生活ができない）車中泊や自宅で過ごす方が多いので、その人たちへの支援をお願いします。
- 災害の時は、高齢者、障がい者生活のうえ自己責任で、一週間くらいの生活できるものを整えておく。
- 家族から障害について理解を得られないことが多々あります。例えば、精神障害のことをご近所や親戚に秘密にしなさい等です。これは障害があることが自分自身だけでなく家族の負担にもなり得ることだと思うので、解決策を考えて欲しいです。
- 自分の障害ではあまり不便を感じる事はありません。
- 上の質問の回答にも書かせていただきましたが、ワンストップなど、行政の横のつながりをもっと強くして、当事者が何度も申請をする必要がないようにしていただきたいです。例として、以前介護認定をしていただくために認定員さんに来ていただきました。その時に、合わせて避難の登録も同時にしていただくようお願いしましたが、介護認定と避難登録の聞き取りは別の部署なので同時にはできないと言われました。結果、面倒くさくなり避難の登録はしていません。当事者の立場からすると、部署の違いでできないと言うのは正直関係ありません。横の連携を強化して当事者に寄り添った対応をしていただけると大変助かります。また、申請をしないとサービスを受けられないと言うのも改善していただけるとありがたいです。プッシュ型の取り組みでサービスを受けられない人が出ない仕組みを考えていただけると、困り事を抱える人ももっと少なくなるのではないでしょうか。今の法律等で制度上はなかなか実行が難しい面があることも理解しています。できる範囲からで結構ですので、実行していただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。
- 気軽に相談できる場所に作ってほしい。
- 住所地特例が地域によってわかりずらく申請に時間がかかってしまうのが不便。
- 精神疾患を持つ方が集まれる場所が欲しい（情報共有したい）。以前、ヨガ、ピラティスにも申し込もうと思ったが、固定メンバーがいて入れないと聞き、やめたので入りやすくしてほしい。役場に相談しに行こうと思うが、敷居が高く、入りずらい。
- アンケートに記入したけどきちんと見ているのですか？アンケートをもらって何もしないならこのアンケートは、いらないと思いますし、むいみです。こんな、アンケートは、ださないでほしいです。
- 自分でも何を書いているの判らなくなってきました。※ようするに、SNS漬けになっている今の子供

たちに、将来をまかせるのは、不安だということです。

・ 個人的な感情が入ってしまった内容になってしまったので、ページごと取りました。

・ 何も今は思い付かない。